



3月のえんたより

~笑顔あふれる
育ちのひろば~

令和5(2023)年3月20日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

暖かな風に乗って春がやってきました。

広島地方でもサクラの開花宣言が行われ、可憐な花が咲き始めています。

明光保育園では、3月25日（土）に白組の19名の園児が園を巣立って、小学校に大きな夢と希望、少しの不安を持って羽ばたいていきます。

これまで培ってきた、友情や思いやり、勇気、向上心、探究心、創造力、知力、体力などを発揮して、夢の実現に向けて、学びや遊び、趣味やスポーツに取組んでいってください。

白組の保護者の皆様には、お子様のご卒園を心からお慶びいたします。

また、子育てとお仕事などとの両立の中で多くの思い出に包まれておられると思います。

特に、卒園までの3年間は、新型コロナウイルス感染拡大で日常生活はもとより、保育園の活動にも大きな制約を受けてしまいました。

まもなく、感染対策も緩和される見込みです。春の暖かな日差しの下で一日も早く日常生活や保育活動が戻ってくることを願っています。

明光保育園では、新たな運営体制となって3年を経過します。

「笑顔あふれる育ちのひろば」を掲げて、子どもたちを主体として一人ひとりに寄り添い、健やかで個性豊かな成長を保障する保育（養護・教育）を保護者や地域の方々の協力を得ながら推進しています。

複数の職員がそれぞれの専門性を活用して、各クラス担任とともに子どもたちの健やかな育ちを支援するチーム保育を採用し、職員が相互に連携して保育に当たっています。

また、4月からは一時保育を実施するとともに、看護師を採用して園児の健康管理や感染症の防止対策などの充実を図るほか、引き続いて、職員の専門性と資質の向上を図るために、積極的な研修への参加を計画しています。

さらに、適切な保育の提供を検証するため、園と職員の自己評価を導入するとともに、開かれた保育園として、苦情処理の新たな仕組みを導入することも計画しています。

地域の子育て支援センターとして、保護者や地域の多くの方々の信頼に応え、役割を果たすため、引き続いて、改善、改革に取組んでいきますので、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

ひな祭り会(3月3日(金))



各クラスでテーマを決めて創作作品展を開催しました！！(2月)



ひよこぐみ
～はじめてかいてつくったよ～



あかぐみ
～つくるのたのしいな～



ももぐみ
～みてみて、できたよ～



きぐみ
～おおぞらへはばたこう～



あおぐみ
～ようこそえほんのせかいへ～



しろぐみ
～つかもう！みらいのゆめ～

日	月	火	水	木	金	土
3月19日	20	21	22	23	24	25
休日保育	身体測定週間	春分の日 休日保育	体操のひろば (青・黄組)	理事会	お別れ会 語学支援	卒園式
26	27	28	29	30	31	4月1日
休日保育					語学支援	入園式
2	3	4 (あんぱんまん の日)	5 清明 (せいめい)	6 進級式	7	8 (花まつり)
休日保育					語学支援	
9	10	11	12	13	14	15
休日保育	身体測定週間	調整会議	幼稚会議	乳児会議	語学支援	
16	17	18 体操のひろば (青・黄組)	19 避難訓練	20 穀雨 (ごくう)	21 語学支援	22
休日保育						

3月の園だより担当 保育士:蒲生・島崎
栄養士: 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366 FAX 823-0371
アドレス info@kenshin-meikou.jp

担任からの1年間の クラス紹介！

【ひよこ組 0歳児 12人】担任:森戸、副担任:倉留

保育士との愛着関係を築いて、安全で安心できる環境の中で生活することをおして、身の回りのものに興味を持ったり、自分でやってみようとする気持ちが育まれるように保育を進めてきました。

一人ひとりに寄り添って表情や仕草、哺乳（なんご）を丁寧に受け止めたり、異なる生活リズムを大切にしながら食事や睡眠、排泄、遊びなどを行い、生理的な欲求を満たしていくことで、心地よい生活を送ることができるようにとなっています。

食事では、少しづつ自分で意欲的に食べたり、哺乳や指差しなどで自分の思いを保育士に伝えられるようになり、やり取りをおして保育士への信頼関係が育まれ、思いを伝えようとする意欲が高まり、保育士など他人との人間関係の形成の基盤が培われています。

進級（赤組）に向けて、少しづつ食事や着替えなどの日常の基本的生活習慣にも興味や関心を向け、自分でしようとする意欲を高めて、主体的に生活を営む力を育んでいけるよう支援していきます。



【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

クラスのみんなと一緒に楽しく活動する経験をおして、一人ひとりの成功体験を重ねて自信を育んだり、園児相互の信頼関係が深まるように支援してきました。

自分でやってみたいという意欲が生活習慣の習得につながり、「自分でできる」ことで自立心と何ごとも諦めずに挑戦する強い心が育っています。

みんなと一緒に遊んだり活動することの楽しさや喜びを感じ、友だちとの関係も深まっています。

集団生活での決まりを意識して、良いこと、悪いことに気付いて行動したり、ルールのある集団遊びを楽しむことができるようになりました。

一方で集団遊びの中で自分の思いを通そうとしたり、思いが相手に伝わらず、喧嘩になることもあります。保育者が仲立ちをしながら、互いの気持ちや思いに気付くような言葉がけで、子ども同士で解決していくことも増えています。

青組への進級を楽しみに、一人ひとりの成長に寄り添いながら、身の回りの自立を進め、何ごとも創意工夫しながら挑戦できる環境を整え、できたを共に喜び、成功体験が自己肯定感にむすびつくよう支援していきます。

【赤組 1歳児 15人】担任:金井、副担任:松本

自分の思いや欲求を出すなど、自我の芽生えを育んでいくことを目標に保育をしてきました。

おやつや食後の片付け、排泄、帰りの身支度を保育士と一緒に毎日繰り返し行うことで少しずつ一人でできるようになります。できた時には「できた」と嬉しそうに保育士に報告してくれます。「すごいね」「自分でできたね」など、褒めたり一緒に喜ぶことで、子どもたちの自信につながり、「自分でやりたい」という気持ちが大きくなって自我が芽生えてきました。

生理的な欲求や人との関わりに対する欲求が満たされることで、自分がしたいことを自ら取り組もうとする意欲も育ち始めました。

一人ひとりが興味や関心を持ったことを自分でやってみようとする気持ちに温かく寄り添い、見守る中で、保育園での生活を楽しみ、保育士やクラスのみんなとの関わりをとおして、個性豊かに生きる力が養われるよう支援していきます。

お別れ遠足(3月16日(木))



【青組 4歳児 18人】担任:細川

クラス全員で楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり協力したりしながら、やり遂げる喜びを共感しながら過ごしてきました。

クラス内で個人と周りとの思いの違いから意見のぶつかり合いも起こっていましたが、保育士が仲立ちをして相手に思いを伝えたり、相手の思いを受け入れたりする経験をおして、相手の思いに気付き話し合って解決することができるようになったり、みんなで協力することの大切さや相手を思いやる心が育まれてきています。

運動会や発表会などの様々な行事や活動では、みんなで力を合わせてやり遂げる面白さや楽しさをみんなで共感することができました。

また、最後まで諦めずにやり遂げる粘り強さや自分で解決しようとする気持ちが育ち、自立心や責任感も身に付いています。

4月からは、白組（年長児）として、就学につながるよう、一人ひとりの興味関心や気付きを大切に守り育てるとともに、クラスのチームワークを活かしながら、目標を持って、様々な行事や活動に挑戦する意欲を高め、各々の創意工夫を活かしながら取り組み、やり遂げた満足感や達成感をチーム全体で喜び合えるように支援していきます。

【桃組 2歳児 17人】担任:今田

基本的な習慣を身に付けることを目標に、毎日の生活の中で繰り返し行ってきました。

朝の身支度では、保育者と一緒にすることで少しずつ準備の流れが分かるようになります。一人でコップやハンカチ、ノートを出して準備できるようになりました。

衣服の着脱やトイレトレーニングでは、焦らず一人ひとりのペースを尊重することで、身の回りの自立に向かって「自分でできる」「自分でしたい」という自信や意欲を育むことができました。

また、周りの園児の行動に興味が出る中でトラブルやけんかが増えました。保育士が仲立ちをして、自分の主張を受け止めてもらなながら、相手の思いを知って、受け止める経験をおして、自我が育ち、自他の違いに気付き、自分の思ったことを言葉で伝えたり、相手の言葉や話を聞いて、自分なりに折り合いを付ける力が身に付いています。

経験したことや考えたことを自分なりの言葉で表現したり、相手の話す言葉を聞こうとする態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力が育まれるように支援していきます。



【白組 5歳児 19人】担任:本岡

卒園式もまもなくとなり、クラス全員で一緒に過ごす時間も残り少なくなりました。

これまで、自分の素晴らしい力を信じて、主体的に考えたり、工夫したり、みんなで協力しながら、最後まで諦めずにやり遂げるという目標を掲げて、様々な行事や活動に取組んできました。

ティキャンプ、運動会、発表会など一つ一つの行事をやり切ることで「できた」が大きな自信につながり、活動をおして、クラスの仲間を思いやる優しい心がしっかりと根付き、共通の目的に向かって、助け合い協力する体験をとおして19人の心が1つにまとまることができました。

クラス内では、「ランドセル届いたよ」「1年生になるんじゃけん」と誰もが就学に向けて期待を膨らませています。

白組での残りの日々を大切にしながら、就学に向けてのさらなる期待を膨らませて、心を一つにして卒園式を迎えられるように過ごしていきます。

明光保育園での思い出を胸に小学校でも自分を信じて色々なことに挑戦し、友だちをたくさん作ってかっこいい一年生になってください。これからもずっと応援しています！

★専門支援によるチーム保育の振り返り★

①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

子どもたち一人ひとりが持っている知的能力を高めることを目標にして取り組んできました。

子どもたちの思いや知的好奇心が、遊びに発展し、探究心や記憶力の高まりにつながるよう、映像や図鑑、音楽、文字や数字などを使って好奇心を醸成し「見たい」「やりたい」「知りたい」という意欲につなげていきました。

また、子どもたちに共感し、一緒になって、知識を広げたり、深めたりしながら、挑戦することを大切にしてきました。

生活発表会での年長児の知育発表では、子どもたち一人ひとりが今の成長した自分の姿を見てももらう場になりました。

できる・できないではなく、笑顔で自己表現できることをおして、子どもたちの挑戦する力を引き出しています。

年齢や発達段階に応じた知育支援のため、子どもの思いを汲み取り、教材の工夫・改善や知育玩具の導入を行います。



④, ⑧言語・安全支援担当:石崎 乳児主任

(言語)

豊かな言葉や表現力が身に付くように絵本や紙芝居の読み聞かせを中心にして、子どもたちが多くの言葉や物語に触れる機会を設けることに重点をおいて支援をしました。

読み聞かせの中では物語を掘り下げて、「なぜ?」「どうして?」「どのように?」「それから?」など、子どもたち一人ひとりに疑問や想像力が広がる言葉かけをし、自分なりの考えを導き出すよう心掛けました。

また、遊びの輪に混ざったり、積極的に話しかけることで、正しい言葉遣いや自分の気持ちの伝え方など、遊びや日常生活の中で言葉や表現力が豊かに育まれるように努めました。

さらに、絵本等に触ることにより、子どもたちが疑問を抱き、自主的に調べたり話し合う時間を設けています。

(安全)

毎月、火災だけでなく、風水害、地震、不審者などを想定して避難訓練を実施しました。

幼児クラスでは「おはしも」・押さない・走らない・しゃべらない・戻らない、が自然に行動できるようになりました。

交通安全も交通安全教室や園外活動をとおして、車や電車などの危険性と安全の確保を指導しています。

自分の安全は自分で守ることができるように、知ることと、行動できることを繰り返して訓練していきます。

②創作・造形支援担当:奥崎 主任

豊かな感性を養い、クラスのみんなと一緒に作る楽しさを感じることができるよう様々な技法や素材を使って創作に取り組んできました。

絵の具に触れる機会が増えたことにより、使い方にも慣れ、興味を持って色の混色を試し、楽しんで創作しています。

子どもたちが色や素材、イメージ等自分で決める樂しみ、喜んでいる姿が支援の中でたくさん見られました。

また、絵画表現では、枠にとらわれず自由に描くことが増え、個性豊かな作品ができ上がるようになりました。

これからも、季節の素材や感触を楽しめる素材をより多く取り入れ、子どもたち一人ひとりが自身の個性をしっかりと發揮して表現できるよう支援していきます。

③運動機能支援担当:蒲生 幼児主任

運動機能の基礎が身に付くことを目標にして、マットや鉄棒、跳び箱、平均台などの運動器具や縄跳びやボールなどの遊具を使って取り組んできました。

チャレンジカードを用いて目標を立て、楽しみながら練習するところで、できることが増えていくことで向上心や挑戦心、意欲が高まり、粘り強さも身に付いています。

運動会では、クラスの仲間と協力して競技に取り組むことに喜びを感じ、ルールある集団遊びに結びついてきました。

これらをとおして、一人ひとりに共同性や道徳性、規範意識、思考力も身に付いているように感じます。

「できる・できない」という結果が全てではなく、運動が楽しいと感じられるようになり、運動機能の更なる発達の可能性が高まっています。

これからも、安全に配慮し、園外保育を増やすなど活動の幅を広げ、楽しみながら運動機能の向上を目指していきます。



⑦園芸栽培支援担当:米田園長

1年をとおして計画的に花や野菜を栽培してきました。

土作りや種や球根、苗植え、3歳児以上は水やりを行い、植物の成長を観察しました。白組はひまわり、青組は朝顔の観察日記を書くことで成長の経過を知り、驚き楽しみました。

玄関にプランターを置くことで、登園時に親子で栽培している植物を観察することができ興味・関心が深まりました。

今後とも植物を栽培し、観察や触れることで生命の不思議さに気付き、探求心を刺激したり、収穫の喜びや食べる喜びをみんなで共有しながら、食育活動につなげていきます。

⑤音楽表現担当:相原 リーダ

音楽を使った表現活動をとおして、豊かな感性や表現力が育まれるように取り組んできました。

段階的に色々な音楽「歌う・楽器遊び・リズム遊び・ピアニカ」に取り組み、クラスごとに興味関心のあることから始めてることで、集中力が付いてきました。楽しく音楽に取り組む中で自分らしく表現することも少しずつでき始めました。

リズムや音程の違いを聞き分け、ピアノに合わせて動くなどのリトミック遊びをとおして、音を聞きながら判断して動く「即時反応」の力も養われるなど、できることが増えることで誰もが自信を持って取り組めるようになっています。

子ども一人ひとりの成長や興味や関心に寄り添いながら、楽しい音楽支援を高めています。



⑥食育・健康支援担当:酒井、佐々木栄養士 今田 もも組担任(食育)

健康なカラダを築くため、給食をとおして必要な栄養素やカロリーが摂取できるよう、子どもたちの嗜好に配慮しながら、日本の伝統文化や行事にちなんだメニューや旬の食材も取り入れ、味と色どりにもこだわった献立を作り、園内で職員が調理を行い提供しています。

また、栄養バランスや食材に興味を持ったり、食事マナーが身に付くよう食育活動を行ってきました。

メニューや素材の由来や意味を伝えたり、野菜の栽培、収穫や食材に触れたり、匂ったり、調理したり、味わうことで五感を刺激しながら「食」への興味を深めていきました。

新年度からは、これに加えて、子どもたちの意見を取り入れながら楽しい食事やおいしいメニューの提供、食育計画による多様な食育活動を進めていきます。

(健康)

生きる力に求められる健康に必要な習慣や知識が身に付くように子どもの視点に立って支援してきました。

新型コロナウイルス感染症や胃腸炎の園内感染が続いたことから、子どもたちに正しい感染症の知識や感染防止のための手洗い・うがいの仕方、大きさなどを改め伝えることで、予防意識が身に付くように促してきました。

また、歯の大切さや磨き方を知らせたり、絵本やエプロンシアターを用いて冬の乾燥についてや便の仕組みについてなど、子どもたちに分かりやすく伝えてきました。

自分の体の仕組みや健康にしっかり興味を持つことができるよう分かり易く伝えています。

もうすぐぴかぴかの1年生！

白組特集



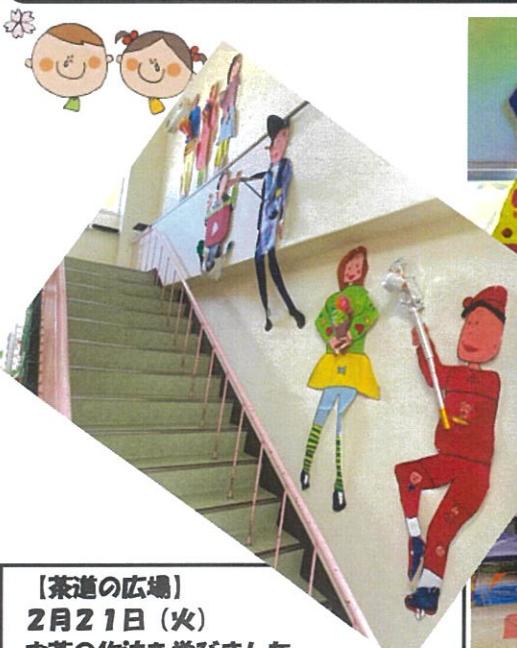
白組（5歳児）の19名は、3月25日（土）に卒園式をを迎えます。

保育園で一人ひとりが個性豊かに培ってきた、思いやりの心や協調性、感性、自立心、思考力、表現力などが大きな自信となって、小学校での学びや運動、友だちづくりなどに結び付いて、一人ひとりが大切な存在として、素晴らしい花を咲かせていくことを願っています。

4月からは、19名の仲間が海田小学校に5名、海田東小学校に9名、海田西小学校に1名、海田南小学校に1名、町外の小学校に1名に分かれて進学しますが、明光保育園で築いた友情と思い出をいつまでも大切にしてください。

明光保育園の誰もが、みなさんを応援し、見守っています。

卒園、おめでとうございます。



【茶道の広場】
2月21日（火）
お茶の作法を学びました。
お茶苦いけど、おいしかったよー



【クッキング】9月9日（金）
お月見だんご 作ったよー



自分の持来の仕事



【テイキャンプ】8月26日（金）



【ハロウィン】10月28日（金）
自分たちのなりたいものに仮装したよ。
お菓子ももらって楽しかったね



【運動会】10月20日（土）
みんなで力を合わせて頑張ったね



【生活発表会】12月10日（土）
みんなで「ジャックと豆の木」を演じたり、歌やピアニカ、がんばりました

